

## ぶつかる闘志に沸き起こる歓声 第33回ユニホック大会開催

第33回山田町B & G 海洋センター少年少女ユニホック大会が1月26日、岩手県立陸中海岸青少年の家で開かれました。大会には町内から男女30チームが参加。子どもたちはスティックを手に、優勝を目指して競り合いました。試合では、連携の取れたパス回しで相手陣営に一気に攻撃をしかけたり、ファインプレーでゴールを死守するなど、これまで練習してきた成果を十分に発揮。子どもたちのプレーに対して監督の指示や観客らの歓声が沸き起こるなど会場は熱気に溢れていました。熱戦の結果、男子の部は大沢ミニトマト、女子の部は大沢ニンジンガールズと、大沢小が男女優勝に輝きました。



本町と宮古市から多くの子どもたちが出演。練習の成果を存分に発揮しました（上写真）／訪れた観客らはピーター・パンらのコミカルな演技に一喜一憂



## 子どもたちの踊りがはじける キッズミュージカル公演

劇団ゆうの主催するキッズミュージカル「ピーター・パン」の公演が、2月10日に町中央公民館大ホールで行われました。芸術文化活動の支援を目的に沿岸部の小・中学生が参加した同公演。本町と宮古市の小・中学生56人が劇団ゆうメンバーらとともに歌い踊りました。ネバーランドのインディアン役として参加した子どもたちは、初めてとは思えないほどの演技を披露。フィナーレで満場の拍手を受けた子どもらの顔は、達成感に満ち溢れていました。

## 「やまだの作文」表彰式 入選した37人をたたえる

第41回「やまだの作文」表彰式が2月5日に町中央公民館小ホールで行われ、入選した児童生徒37人をたたえました。このコンクールは、山田ロータリークラブ（阿部幸栄会長）と山田町教育委員会が主催しているもので、町内小中学校から73点の応募があり、昨年11月28日に審査が行われました。作文のテーマは自由で、子どもらが身近で感じたことや思ったことなどを素直に文章で表現しています。式では、阿部会長から出席した入選者一人一人に賞状を手渡し、代表して織笠小1年の織笠夕愛さんが作品名「ありがとう」を、山田中3年の山本怜南くんが作品名「野球で伝える思い」を、それぞれ発表しました。なお、入選作を集めた作文集は、県内各小・中学校や全国のロータリークラブなどに贈られる予定です。





今月の題字

菊池 佳菜さん  
(山田南小 6年)

# 町のわだい

## 一日3食しっかりが長寿の秘訣 飯岡の小林さんが100歳に

飯岡の小林伊勢次郎さん（大正2年生まれ）が2月7日で満100歳の誕生日を迎えました。同日、佐藤町長が自宅を訪問し、長寿を祝福。「おめでとうございます。これからも元気で長生きしてくださいね」とあいさつし、長寿祝い金を手渡しました。歩くことが趣味という小林さんは、長寿の秘訣を「一日3食しっかりと食べること」といいます。三男の妻・千世子さんとの会話が毎日の楽しみという小林さん。今日もしっかり3食とり、話に華を咲かせます。



## 不便な暗所を減らすために 3企業が町内に街灯を設置

東北電力宮古営業所（<sup>さん またけ し</sup>残間健志所長）とユアテック宮古営業所（<sup>ただ お</sup>佐々木唯男所長）が町内に街路灯38基を設置し、町に寄贈しました。寄贈式は2月1日に町長室で行われ、町長は「街路灯は町民の心に光をもたらすもの。町民と一丸になって復旧復興を進めていきたい」とあいさつ。両所長が町長に目録を手渡しました。この街路灯は、大和ハウス工業株式会社から寄贈されたもので、「暗い場所が多く不便だと思うが、少しでも役に立てれば」という思いで東北電力とユアテックが設置工事費を折半し設置。震災により街灯が失われた長崎地区や田の浜地区などの暗所に、温かな光を灯しました。

## 町の福祉に大きな支援 豊間根中が車椅子を寄贈

1月29日に豊間根中（<sup>まさる</sup>高橋勝校長・生徒100人）生徒会が、町の福祉に役立ててもらおうと、車椅子3台を寄贈しました。今回で18回目となるこの活動は、同校が毎年8月のリサイクル資源回収活動で得た収益金で車椅子などを購入し、町に寄贈しているものです。同校前生徒会長の佐々木<sup>ゆら</sup>優良くんは「充実した学校生活は周囲の支援のおかげ。この活動で地域との強いつながりができた」とあいさつ。新生徒会長の佐藤<sup>あすか</sup>明日香さんらとともに車椅子を佐藤町長に手渡しました。町長は「大変ありがたい。有効に活用します」と感謝。寄贈された車椅子は、山田町社会福祉協議会を通じて利用者に貸し出されます。

